

第150期 報告書

2014年4月1日から2015年3月31日まで

- P1 荏原グループについて／年間活動カレンダー／
連結業績ハイライト
- P3 トップインタビュー
- P5 コーポレートガバナンス
- P6 セグメント情報
- P9 コーポレート最前線
- P11 連結財務諸表
- P12 会社概要・株式の状況
- P13 株主様へのご案内
- 裏表紙 IRカレンダー
富山記念館ご招待券

荏原グループについて

荏原グループは、荏原製作所、子会社78社(うち連結子会社53社)及び関連会社10社より構成されており、荏原製作所を中心として、「水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する」ことを企業理念として事業活動を行っております。拡大するグローバル市場において、競争力強化と収益力の向上を図るとともに、連結経営を強化し、グループが保有する経営資源を効率的に運用することにより、企業価値・株主価値の増大を図ってまいります。

2014年度 年間活動カレンダー

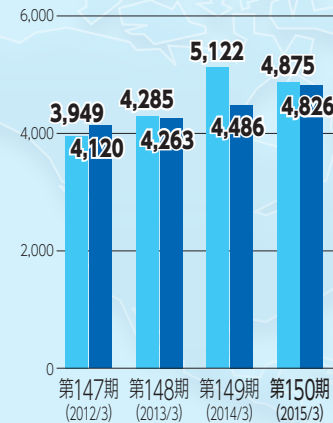
■風水力事業 ■エンジニアリング事業 ■精密・電子事業 ■経営

- 4月 中東にポンプのアフターサービス、販売を担う新会社を設立
- 6月 第149期定時株主総会を開催
- 10月 ブラジルにポンプ事業の新営業拠点を設立
- 11月 新型家庭用給水ポンプ(HPE型)を出荷開始
- 12月 新型CMP装置(F-REX300X型)を発表
- 12月 TSMC社から3年連続“Excellent Performance in CMP Equipment”を受賞
- 12月 岩見沢市新ごみ処分場長期包括的管理運営事業を受注
- 2月 荏原の信用格付けが「BBB+」から「A-」に格上げ
- 3月 ベトナム(ホーチミン)に駐在員事務所を設立

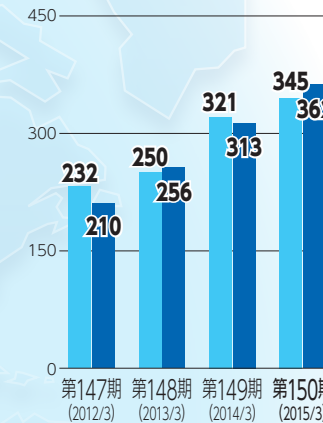
連結業績ハイライト

売上高	4,826億円	前年度比	7.6%	▲
営業利益	345億円	前年度比	7.4%	▲
経常利益	362億円	前年度比	15.8%	▲
当期純利益	235億円	前年度比	24.3%	▲
1株当たり年間配当金	12.00円	前年度比	4.50円	▲
内訳 中間配当金:3.75円 期末配当金:8.25円				

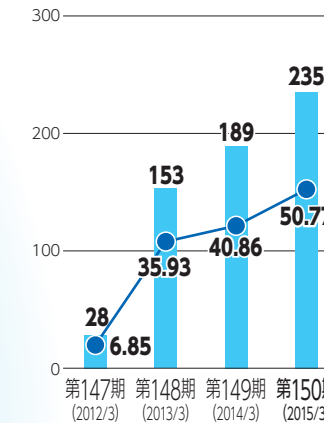
■受注高 (単位:億円)
■売上高 (単位:億円)



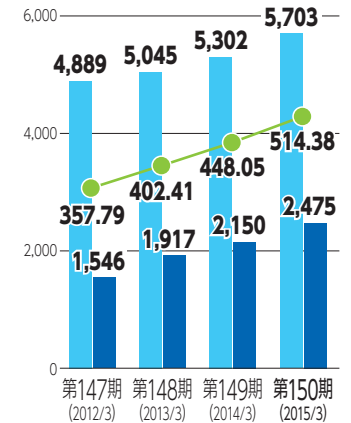
■営業利益 (単位:億円)
■経常利益 (単位:億円)



■当期純利益 (単位:億円)
●1株当たり当期純利益 (単位:円)



■総資産 (単位:億円) ■純資産 (単位:億円)
●1株当たり純資産 (単位:円)



コーポレート

〈連結子会社〉 国内:3社 海外:1社 〈その他〉 国内:3社

風水力機械カンパニー

〈連結子会社〉 国内:8社 海外:33社
〈その他〉 国内:3社 海外:13社
●荏原冷熱システム(株) ●(株)荏原エリオット
●Ebara Pumps Europe S.p.A. ●Elliott Company 他

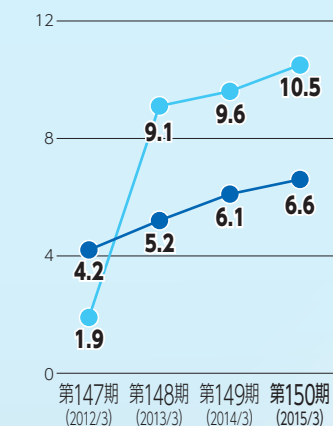
環境事業カンパニー

〈連結子会社〉 国内:1社 海外:1社
〈その他〉 国内:13社 海外:2社
●荏原環境プラント(株) ●青島荏原環境設備有限公司 他

精密・電子事業カンパニー

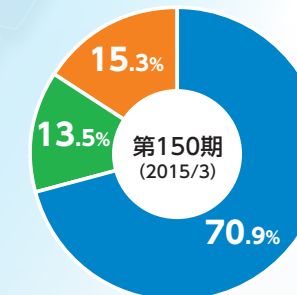
〈連結子会社〉 国内:1社 海外:5社
〈その他〉 海外:1社
●(株)荏原フィールドテック ●Ebara Technologies Inc. 他

●自己資本当期純利益率(ROE) (単位:%)
●総資産経常利益率(ROA) (単位:%)



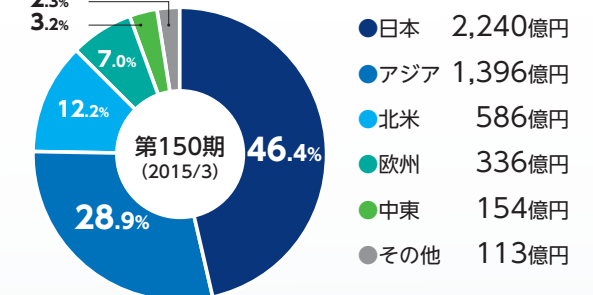
セグメント別の概況

事業別売上高構成比 (単位:%)



風水力事業
エンジニアリング事業
精密・電子事業
その他 0.3%

地域別売上高構成比 (単位:%)



詳しい事業セグメント別情報はP6~8をご覧ください。

詳しい業績情報はWEBサイトへ
<http://www.ebara.co.jp/ir/>

「世界トップクラスの産業メーカー」の地位を確保することを目指して確実に成長してまいります。

当社グループ事業の現況と次なる展開をご説明申し上げます。



代表執行役社長

前田 東一



第150期の営業状況を振り返り、総括願います。

3か年の中期経営計画「E-Plan2016」をスタートした第150期（2014年度）は、米国景気の回復と欧州経済の持ち直し、アジアにおける緩やかな景気拡大が続き、国内経済も改善に向かう中で、当社グループの営業状況も全般的に好調に推移しました。

受注高は、精密・電子事業が増加する一方、風水力事業、エンジニアリング事業が減少し、全体としては前期を下回りましたが、売上高は、全事業セグメントにおいてプラス成長を果たすことができました。利益面では、エンジニアリング事業と精密・電子事業の増加により、前期を上回る成果となりました。

その結果、当期の連結業績は、売上高4,826億99百万

円（前期比7.6%増）、営業利益345億67百万円（同7.4%増）、経常利益362億58百万円（同15.8%増）、当期純利益235億80百万円（同24.3%増）となりました。

事業セグメントごとの概況を述べますと、風水力事業は、ポンプ事業が海外を中心に堅調に受注を確保しましたが、コンプレッサ・タービン事業と冷熱事業は、前期の受注実績に届きませんでした。セグメント全体の損益は増収・減益となりました。

エンジニアリング事業は、新規建設工事や事業型案件（DBO）の発注量が回復し、廃棄物処理施設の維持管理の発注量も例年どおりに推移する中で、基幹的設備改良工事を3件、DBO案件と長期包括運営契約を各1件受注し、自治体向け一般廃棄物処理施設1件と民間向け産業廃棄物処理施設1件を竣工引渡しました。これにより当セグメントは、売上高・利益の拡大を果たしました。

精密・電子事業は、半導体市場の好況を受け、コンポーネント事業を中心に受注が堅調に推移し、セグメント全体では増収・増益となりました。



今後の展望と取り組みについてお聞かせください。

「E-Plan2016」では、第152期（2016年度）を最終年度とする3年間の「『経営基盤強化』から『成長』へと明確に舵を切る変換点」と位置付け、高収益体質の構築と規模拡大を果たすための施策を遂行中です。

計画2年度目となる第151期（2015年度）の事業環境は、地域によって原油価格の低迷継続や政情不安など外部環境が変動するリスクがあるものの、米国経済のけん引等により世界景気の回復傾向が続くと見えています。その中で当社グループは、引き続き市場の成長を確実に取り込むとともに、製品・プラントのライフサイクル全体を対象とするサービス業たるための施策を実施していきます。また、技術力の強化とグローバル事業の展開を支える経営インフラの拡充を継続的に図っていきます。

事業セグメントごとの重点テーマとして、風水力事業では、地域ごとのニーズに合った製品開発を推進しつつ、グローバルな生産・販売体制とサービス&サポート体制を充実させ、事業範囲を拡大していきます。

エンジニアリング事業では、DBO案件や基幹的設備改良工事の積極的な提案を行い、市場環境と顧客ニーズの変化に的確に対応していきます。受注残案件の遂行においては、業務改善による効率化を進めていきます。

精密・電子事業では、リードタイム短縮と海外生産・海外調達を推進し、原価低減に努めつつ、顧客に密着した

サービス&サポート体制を強化し、安定的な収益構造を目指します。また、さらなる微細化・新デバイス用・三次元実装用・大口径化など、顧客ニーズに対応した開発を継続し、事業の拡大を図ります。

第151期の連結業績は、売上高5,070億円（当期比5.0%増）、営業利益370億円（同7.0%増）、経常利益370億円（同2.0%増）、当期純利益240億円（同1.8%増）と、増収増益を見込んでいます。



株主の皆様へのメッセージをお願いします。

今回の期末配当は、業績動向を踏まえて当初予定から2円増額し、1株当たり8円25銭とさせていただきます。これにより中間配当の同3円75銭と合わせた年間配当額は12円（前期比4円50銭増配）、連結配当性向は23.6%となりました。第151期は、中間配当・期末配当ともに6円、年間配当額12円を予定しています。

私たちは、「E-Plan2016」による成長戦略の遂行と並行して、グループ内において多様性やワーク・ライフ・バランスを尊重する職場作りの活動を開始しました。また、コーポレートガバナンス体制の強化に向けて、指名委員会等設置会社への移行を決議し、ご承認いただきました（詳細はp5をご参照願います）。目指すべき「世界トップクラスの産業メーカー」にふさわしい企業体質を構築すべく、前進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2015年6月

指名委員会等設置会社への移行について

当社は、2015年4月13日の取締役会で指名委員会等設置会社に移行する方針を決議し、6月24日開催の株主総会において承認され、正式に指名委員会等設置会社に移行しました。

当社のコーポレートガバナンス体制強化の取組み

2002年度

執行役員制を導入

2008年度

社外取締役を2名招聘
指名委員会・報酬委員会
を任意に設置・運営

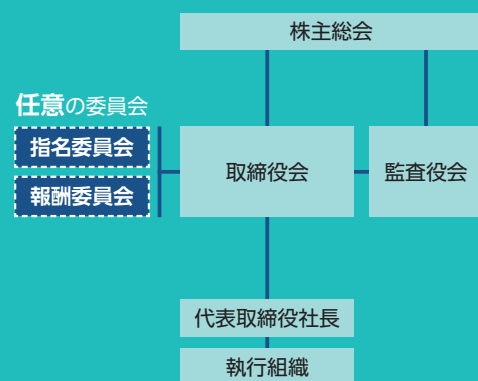
2011年度

社外取締役
2名から4名へ増員
(全取締役の3分の1)

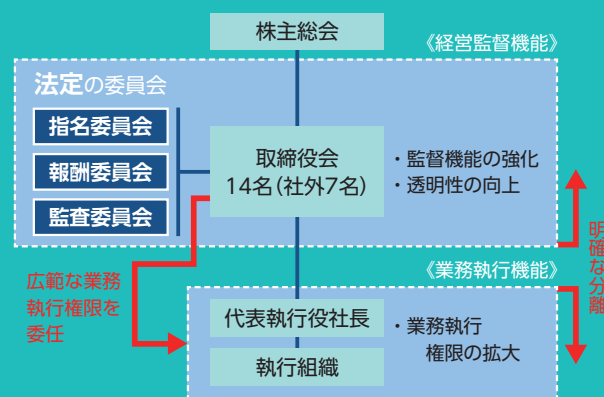
さらなるコーポレートガバナンス体制の強化を目指し、

指名委員会等設置会社へ移行

変更前 監査役会設置会社



変更後 指名委員会等設置会社



移行の理由

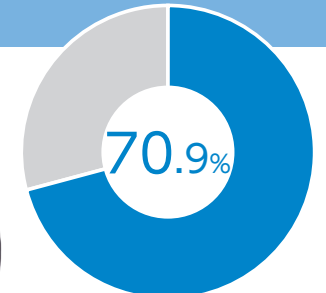
- 1 取締役会による経営の監督機能の強化と透明性の向上
- 2 業務執行権限の拡大と競争力強化
- 3 より明確なコーポレートガバナンス体制の構築



風水力事業

創業以来の主力製品であるポンプをはじめ、風水力機械製品・システムを事業の中核とし、優れた技術と豊富な経験をもとに、生活・産業・社会インフラを支えています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 大井 敦夫



(事業別売上高構成比率)

主要製品

- ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

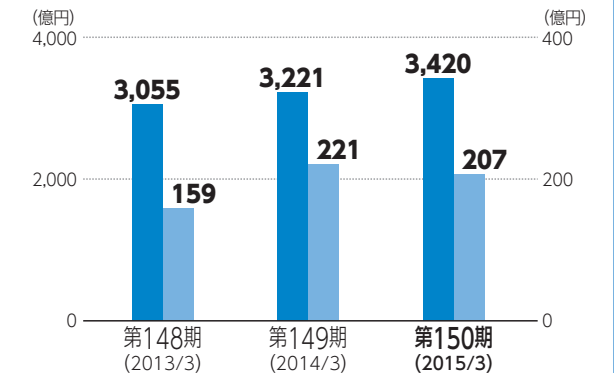
売上高 3,420億円 前年度比 6.2%

営業利益 207億円 前年度比 6.4%

ポイント

- 海外ポンプ事業は中東・東南アジアの石油精製プラント向けや中国・東南アジアの発電プラント向けなどが堅調。
- 国内ポンプ事業は消費税増税等の影響はあったものの市場投入した新製品の効果などで前年度並み。
- コンプレッサ・タービン事業は原油価格下落による石油・ガス市場における新規案件の発注延期の影響あり。

売上高 / 営業利益の推移



新型ステンレス製立型多段ポンプ (EVMS)
対応流量 1m³/h ~ 20m³/h

「新型ステンレス製立型多段ポンプ」のリリース

風水力事業では、世界市場に適用可能な“グローバル基幹製品”として、新型ステンレス製立型多段ポンプ (EVMS) を2015年3月にリリースいたしました。

EVMSは、工業用水、洗浄水、冷温水循環等の産業分野や建築設備向けの給水ユニットに用いられます。

主な改良点は、ポンプの羽根車の形状を手裏剣型にしたことで、これによりモータへの荷重が低減され、モータ軸受の長寿命化と標準モータの選定を可能としました。さらに、ポンプ効率向上による省エネルギー化を実現し、お客様が求める信頼性や低コスト化など、幅広いニーズに対応しました。

今後も、お客様のニーズに合致した競争力のある製品の市場投入を迅速に行い、グローバル基幹製品や各地域特有のリージョナル製品を拡大することにより、世界中のお客様に貢献してまいります。



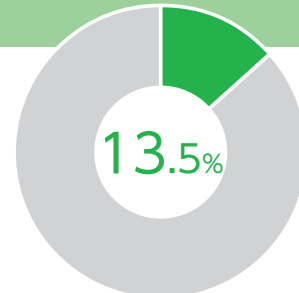
新デザインの羽根車形状



エンジニアリング事業

燃焼・ガス化技術を核とする先進的な環境・エネルギー関連技術をベースとして、多種多様な課題に対するトータルソリューションを提供しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 藤本 哲司



(事業別売上高構成比率)

主要製品

- 都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント

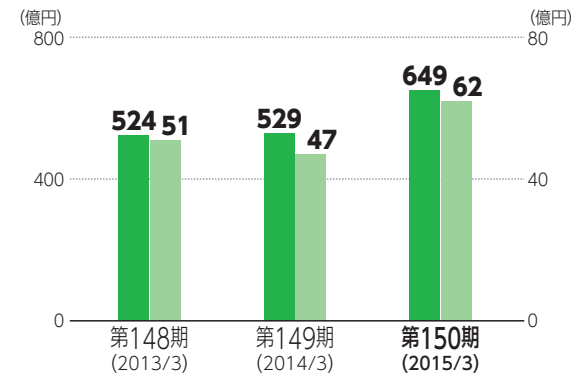
売上高 **649億円** 前年度比 **22.6%**

営業利益 **62億円** 前年度比 **30.7%**

ポイント

- 施設建設から運転管理・事業運営までを含めた事業型案件(DBO)を一件受注。
- 廃棄物の処理施設の維持管理(O&M)の発注量は例年どおり推移。

売上高 / 営業利益の推移



岩見沢市新ごみ処分場(いわみざわ環境クリーンプラザ)外観

岩見沢市新ごみ処分場 長期包括的管理運営事業の受注

エンジニアリング事業は、岩見沢市より「新ごみ処分場長期包括的管理運営事業」を受注しました。本事業は、2015年3月に納入した焼却施設及びリサイクル施設に、最終処分場を含めた3施設を20年間にわたり一体的に管理運営するものです。

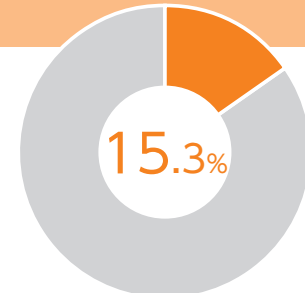
エンジニアリング事業では、廃棄物処理施設の建設から維持管理、運営までトータルソリューションを提供し、お客様のニーズに迅速かつ効率的に応える体制を築いております。今後も、永年培ってきた技術と豊富なサービス実績をいかし、効率的で安心・安全な運営維持管理に努めてまいります。



精密・電子事業

ナノテクノロジー時代の顧客ニーズに応じた半導体製造装置、コンポーネント機器の開発から販売まで行い、さらには次世代に対応する装置を開発・製造しています。

事業責任者(カンパニープレジデント) 辻村 学



(事業別売上高構成比率)

主要製品

- 真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

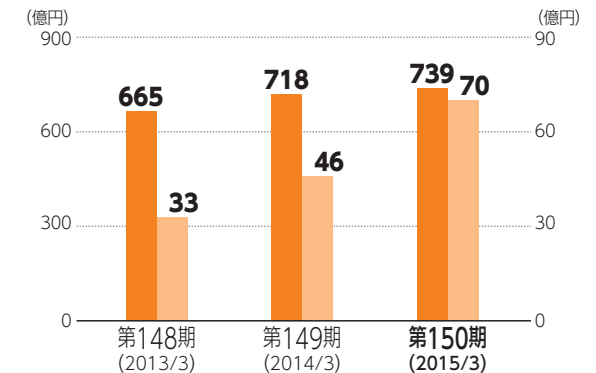
売上高 **739億円** 前年度比 **3.0%**

営業利益 **70億円** 前年度比 **51.8%**

ポイント

- スマートフォンやタブレット型等のモバイル端末に対する需要が引き続き堅調で、市場全体をけん引。
- DRAMやNANDフラッシュメモリ等の設備投資が順調に推移し、コンポーネント事業を中心に受注が堅調に推移。

売上高 / 営業利益の推移



F-REX300X型

※CMP
(Chemical Mechanical Polishing):
化学機械研磨

新型CMP装置 F-REX300X型を発表

精密・電子事業は、主力製品であるCMP※装置の新機種F-REX300X型を発表しました。新機種では、洗浄ユニットを増やしたことによって機器を稼働させた状態での消耗材交換等のメンテナンス性が一層改善され、真のノンストップCMP装置が実現しました。さらに、機械搬送能力が現行主力機種の約2倍となり、短時間プロセスでの生産性を大幅に向上させました。

CMP装置は、半導体チップの製造過程においてナノメートル単位で求められる平坦性を化学的機械的に研磨する装置です。

現行機種でも採用している当社独自の“1テーブル・1ヘッド”“4テーブル・プラットフォーム”のコンセプトは、高スループットを可能とし、年々高まるプロセス要求性能の達成と高い生産性の両方を実現しています。そのため、半導体デバイス微細化の最先端で使用される銅配線の平坦化プロセスを中心に、多くのお客様に採用頂いています。

今後もお客様の生産性向上やさらなる微細化・多層化に必要な性能を備えた製品・サービスの開発に一層注力してまいります。

精密・電子事業カンパニーの
生産革新活動

ものづくりをさらに深化

“Process Innovation” から “Product Innovation” へ



E-Plan2016の基本方針Ⅲ「コア・コンピタンスの強化」の一環として、生産革新活動に力を入れています。今回、精密・電子事業カンパニーでの生産革新活動の進捗と今後についてご紹介させていただきます。

執行役員 総合製品保証統括部 白樫 充彦

半導体市況の波にかかわらず
平均的に営業利益率10%以上の確保

“ありがたい姿”
2017-2019

台湾拠点での 生産革新活動

台湾にあるドライ真空ポンプのオーバーホール拠点において、生産の全体最適を図ることによる生産性2倍を目標とした生産革新活動を行っています。日本の活動と同様に、流し生産の導入を軸とした生産プロセスの徹底的な見直しを進めています。



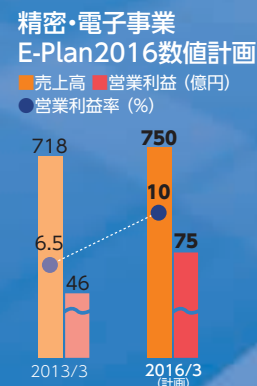
Process Innovation

基本方針	半導体設備投資サイクルの影響を受けにくい安定した事業体質確保
対象製品	ドライ真空ポンプ、CMP装置
目標	生産性2倍、リードタイム1/2
結果	流し生産*の導入を軸に生産プロセスを徹底的に見直し目標を達成

ドライ真空ポンプ
生産性 2倍
リードタイム 1/4



CMP装置
生産性 2倍
リードタイム 1/2



*流し生産…製品をお客様が必要とする単位である「一個ずつ」流す生産方式のこと

中期経営計画
E-Plan2016
2014-2016

中期経営計画
E-Plan2013
2011-2013

Product Innovation

設計・生産効率を徹底的に追求した「ものづくり」

- 生産性を考慮した構造の採用やモジュール化など、生産性向上策も織り込んだ高品質・高生産性モデルの投入
- ICTを活用した高品質・低コスト・短リードタイムの「ものづくり」の徹底追求

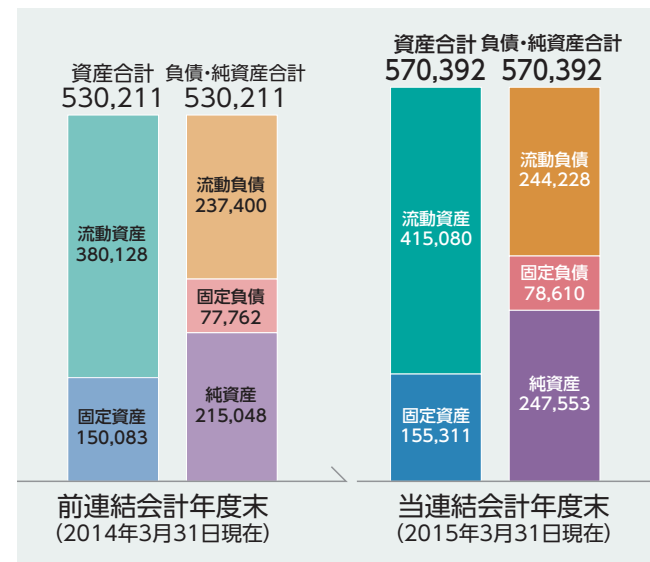
対象製品の拡大

- 生産革新活動で得られた知見をめっき装置・ベベル研磨装置・排ガス処理装置などの他製品へ迅速に展開

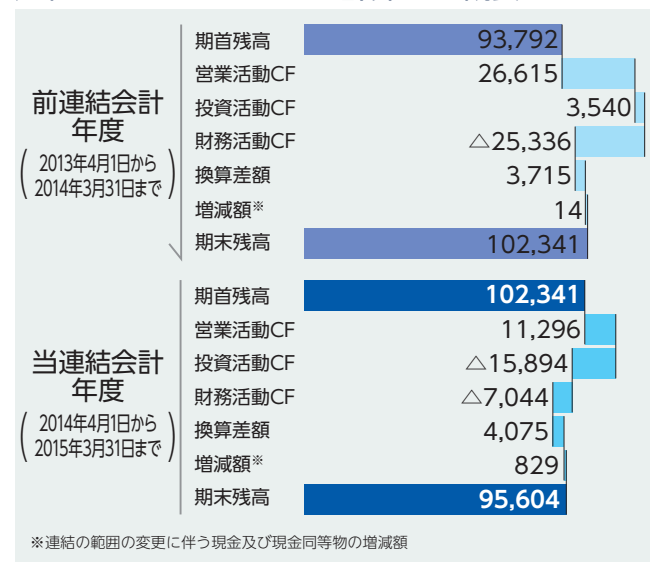
グローバル展開

- 海外の生産・オーバーホール拠点に対して生産革新活動の展開を加速

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位:百万円)



*連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額

連結損益計算書 (要約) (単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (2013年4月1日から 2014年3月31日まで)	当連結会計年度 (2014年4月1日から 2015年3月31日まで)
売上高	448,657	482,699
売上原価	329,059	356,424
売上総利益	119,597	126,275
販売費及び一般管理費	87,403	91,708
営業利益	32,194	34,567
営業外収益	3,607	4,090
営業外費用	4,490	2,399
経常利益	31,311	36,258
特別利益	494	916
特別損失	786	385
税金等調整前当期純利益	31,019	36,788
法人税、住民税及び事業税	7,981	8,439
法人税等調整額	2,325	3,024
少数株主損益調整前当期純利益	20,712	25,324
少数株主利益	1,738	1,743
当期純利益	18,973	23,580

(2015年3月31日現在)

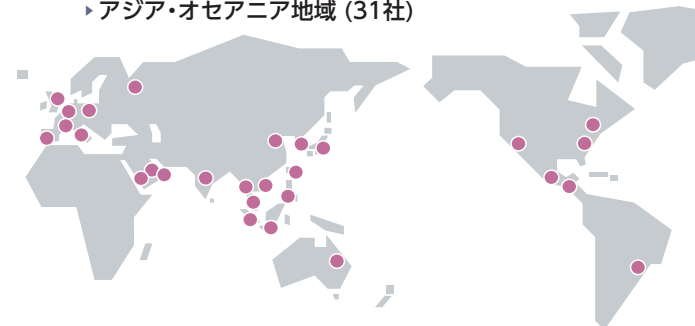
会社概要

創 業	1912年11月
設 立	1920年 5月
資 本 金	686億9,709万9,923 円
従 業 員 数	3,999名 (連結: 16,030名)
役 員	(2015年6月24日現在)
取 締 役	
取 締 役 会 長	矢 後 夏之助
社 外 取 締 役	宇 田 左 近
社 外 取 締 役	並 木 正 夫
社 外 取 締 役	国 谷 史 朗
社 外 取 締 役	松 原 巨 子
社 外 取 締 役	澤 部 肇
社 外 取 締 役	山 崎 彰 三
社 外 取 締 役	佐 藤 泉
取 締 役	前 田 東 一*
取 締 役	藤 本 哲 司
取 締 役	辻 村 学*
取 締 役	大 井 敦 夫*
取 締 役	渋 谷 勝
取 締 役	津 村 修 介
執行役	
代表執行役社長	前 田 東 一
執行役専務	辻 村 学
執行役専務	大 井 敦 夫
執行役専務	小 淵 憲
執行役専務	野 路 伸 治
執行役専務	栗 生 正 太 郎
執行役専務	寺 垣 彰 夫
執行役専務	木 村 憲 雄
執行役専務	浅 見 正 男
執行役	飯 島 久 彦
執行役	長 峰 明 彦
執行役	宮 下 俊 彦
執行役	市 原 昭

*は執行役兼務

拠点

- 国内
 - 事業所・事務所(9ヵ所) / 支社・支店・営業所(76ヵ所)
 - 国内グループ会社(32社)
- 海外
 - 事業所(3ヵ所) / 海外グループ会社(56社)
 - ▶ 北米・南米地域(11社) ▶ 欧州・中東地域(14社)
 - ▶ アジア・オセアニア地域(31社)



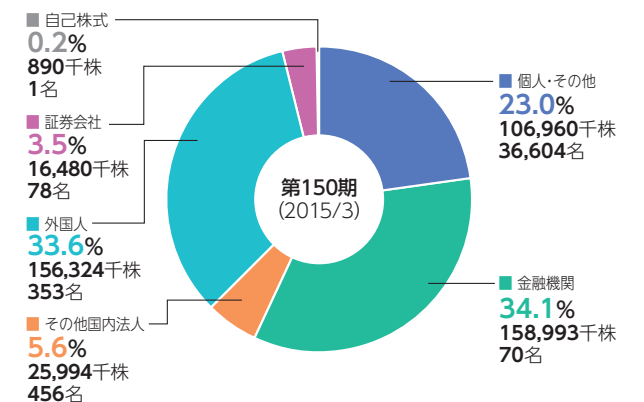
株式の状況

発行可能株式総数	1,000,000,000 株
発行済株式の総数	465,644,024 株
株 主 数	37,562 名
大 株 主 (上位10社)	

株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	38,645	8.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29,206	6.3
PICTET AND CIE (EUROPE) S. A.	12,919	2.8
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	11,224	2.4
株式会社みずほ銀行	10,000	2.2
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	8,706	1.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	7,127	1.5
EVERGREEN	5,293	1.1
日本生命保険相互会社	5,093	1.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	4,528	1.0

(注)持株比率は、自己株式(890,743株)を控除して計算しております。

所有者別株式分布状況



■ 株主メモ

- 事業年度** 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会** 毎年6月に開催
- 基準日** 3月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
- 配当金受領株主確定日** 3月31日
中間配当を実施するときの株主確定日は9月30日
- 株主名簿管理人** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関** 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
- (電話照会先)** ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法** 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>
ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
- 単元株式数** 1,000株
- 上場証券取引所** 東京証券取引所

■ 単元未満株式買取・買増請求制度のご案内

買取請求

1,000株未満の株式を、
当社に対して**市場価格で売却**できる制度です。

<例> 600株を保有の場合、市場では売却できませんが、
市場価格で当社が買い取りいたします。



買増請求

1,000株(単元株式)に不足する数の株式を、
当社から**市場価格で買い増し、単元株にすることが**
できる制度です。

<例> 600株を保有の場合、400株を買い増して、1,000株
とすることができます。



■ 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■ 株主様のご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施に伴い、株主様のご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構(ほふり)が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主様にご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置き換えられる場合がありますのでご了承ください。株主様のご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

■ 住所変更、単元未満株式の買取・買増等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

株主様工場見学のご案内

株主の皆様へ当社へのご理解を一層深めていただけるよう、
工場見学会を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。

見学場所	荏原製作所 富津事業所
対象者	2015年3月31日現在の当社株主の方(同伴者様1名まで可) ※お子様の同伴は小学生以上とさせていただきます。
開催日時(案)	
日時	2015年11月25日(水) 14:00~16:00(予定)
募集人員	50名(同伴者含む)
所在地	〒293-0011 千葉県富津市新富78-1
集合・解散	JR品川駅(予定)
参加費	無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)

応募要領 応募締切:2015年9月15日(火) ※当日消印有効

応募方法 郵便はがきに下記の必要事項をご記入のうえ、ご応募ください。

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうえ、当選発表及び見学内容の詳細はご当選者への発送(10月上旬発送予定)をもって代えさせていただきます。
- 複数枚でのご応募はご遠慮願います。
- 見学会当日は施設内禁煙となっております。
- 階段の昇り降りなどをお歩きいただくことがございますので、あらかじめご了承ください。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更又は中止となる場合がございます。その場合はご当選された株主様にご連絡させていただきます。

個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様及びご同伴者様の個人情報は、本見学会の実施以外の目的では一切使用いたしません。

お問合せ先

株式会社荏原製作所
SRグループ「株主様工場見学会」係
TEL:03-3743-6111(代表)
9:00~17:00
(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)

● はがき記入要領 ●

52円切手 〒144-8510
株主様工場見学会係
SRグループ
株式会社荏原製作所
東京都大田区羽田旭町11-1

株主様

- ①郵便番号 ②ご住所
③お名前 ④年齢
⑤電話番号 ⑥株主番号

ご同伴者様

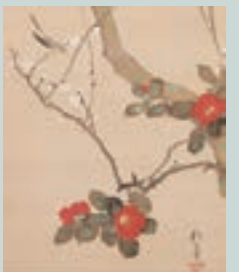
- ①お名前 ②年齢
③株主様とのお関係

荏原と島山記念館

荏原の創業者である、島山一清(号・即翁)愛蔵の美術品を受け継いだ島山記念館は、昭和39年に開館以来、茶の湯の美術館として親しまれています。荏原グループは島山記念館を後援しています。

島山記念館の概要

島山記念館は、茶道具を中心に、書画、陶磁器、漆芸品、能装束など、日本、中国、朝鮮の古美術品を展示公開している私立美術館です。収蔵品は、国宝6件、重要文化財32件を含む約1,300件。春夏秋冬季節の移り変わりに合わせて年4回、作品を取り合わせて展示しています。

十二ヶ月花鳥図(一月・部分)
酒井抱一筆 江戸時代

各月にちなんだ花と鳥を組み合わせる十二ヶ月を表現した十二図一組のうちの一月。赤い椿と白い梅、つがいの鶯を描いている。作者は、琳派の画家として名高い酒井抱一(1761~1828)。琳派独特のにじみの技法・たらし込みを用いて、樹木や葉をみずみずしく情緒豊かに表している。抱一が描いた十二ヶ月花鳥図は当時人気のシリーズで数種知られる。(冬季展に出品予定)

島山記念館

ご招待券

8月1日(土)～9月13日(日)

夏
季展

涼づくし

—書画とやきものを中心に—

10月3日(土)～12月13日(日)

秋
季展

古田織部没後400年記念

桃山茶陶と「織部好み」

平成28年1月16日(土)～3月13日(日)

冬
季展

春に想う

—梅・椿・桜・桃—

平成28年4月2日(土)～6月12日(日)

春
季展

(展覧会名未定)

開館期間は上記の期間となります。
(会期中休館日)
月曜日(祝日のときは翌火曜日)・展示替日



〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12
TEL 03-3447-5787

<http://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/>

都営浅草線
高輪台駅 A2出口下車徒歩5分
東京メトロ南北線・都営三田線
白金台駅 1番出口下車徒歩10分

▶本券1枚につき夏季、秋季、冬季、春季
展年4回ご利用いただけます。
▶1回につき2名様までご利用いただけます。

株式会社 荏原製作所

■ IRカレンダー

2015年



2016年



WEBサイトのご案内

当社のWEBサイトでは、製品情報からIR情報まで皆様に当社を知っていただくための各種情報を発信しております。是非ご活用ください。

荏原製作所 検索
<http://www.ebara.co.jp>



▲トップページ



株主・投資家情報▶



NEWS グローバルサイトを公開しました
海外展開の積極化に対応し、英語・日本語をはじめとする9言語に対応しています。



株式会社 荏原製作所

〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

